

郵便振替口座「網走湖・水と緑の会」02730-3-20099

道新天都山 エゴとする街

ことあることに網走自慢をしている私であるが一昨年来気の重いことがある。国道沿いの景観を阻害している風倒木である。

呼人の水芭蕉群落が始まる「網走国定公園」の標識から網走湖庄までの約一キロ、一昨年の台風で倒れた樹木やその根株が美しい湿地

どう思いますか。網走の沿道景観

風倒木

私の気を重くしているのは、「知床自然遺産」や「湧沸湖のラムサール条約」また「シールバイウエイ（風景街道）」の影響で網走

象だから放置しておこう」また「生態系には影響無し」という人もいる。呼人半島の原生林ならともかく国道



景観を阻害している風倒木の根株

沿いの林がそれでよいだろうか。皆さんどう思われますか。一度見て下さい。
（森の家 清水 敦）



ボランティアらが参加した台風による倒木などの撤去

ミスバショウ群生地守ろう

台風倒木を撤去

自然保護団体などの70人

網走国定公園

【網走】春の観光シーズン到来を前に、網走市内の自然保護団体、網走湖・水と緑の会（清水晶子代表）らが二十三日、ミスバショウが群生する

市内呼人の網走国定公園内で、一昨年の台風による倒木の撤去を行った。倒木から群生地とその景観を守るため、同会のほか、民間団体「東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議」や特定非営利活動法人（NPO法人）「グリーンシールズ」、東京農大などのボランティア約七十人が参加。参加者は、幹が裂けたり根元がめくれたりして散乱したヤチタモの木などを、チェーンソーやのこぎりで短くしたり、群生地の脇に寄せたりした。（川浪伸介）



呼人に咲き誇るミスバショウを鑑賞する観光客

咲き誇るミスバショウ

ヨウを楽しめてよかった」と話していた。

市内には呼人をはじめ湧沸湖の浦士別湖畔など知られた群生地が多い。「きれいな景観を楽しんでもらおう」と市民有志によって湿地帯の倒木を片付けるなど手入れされた。

5月中旬を迎える桜の開花まで、ミスバショウが市民や観光客を楽しませる。網走タイムス

残そう子供たちに 網走のビオトープ 呼人水芭蕉群生地



春は花、夏は緑、秋は葉。呼人水芭蕉群生地

美しい姿を撮影

呼人のミスバショウ群落を守ろうと活動している「網走湖・水と緑の会」が、6月30日まで網走湖のロビーギャラリーで「ヨシ原ヤラリ」で「みんなが撮った呼人の水芭蕉写真展」を開いている。

同会会員のうち清水敦さん、浅利栄治さんが、昨年と今年、ミスバショウの時期に撮影



呼人のミスバショウの表情が映し出されている写真展

呼人のミスバショウ見て

網走

【網走】網走湖畔のミズバショウのさまざまな姿を紹介する「呼人の水芭蕉写真展」が、ホテル網走湖のロビーギャラリーで開かれている。

呼人地区のミスバショウ群落を保全管理している「網走湖・水と緑の会」（清水晶子代表）の主催。会員三人が撮影した写真約二十五点を展示した。

ヨシが茂る中に咲く白が鮮やかな「トビ」の巣のある林」や、小川のせせらぎの中にかれんに咲く「保全林の小川」、樺の花軸に乗ったカタツムリをアップでとらえた「目覚めよと呼ぶ声が聞こえる」など、ミスバショウの魅力をそれぞれの視点でとらえている。

出展した造形作家の清水敦さんは「記録に残して展示することで、『呼人のミスバショウ』をもっと多くの人に知ってもらおうと企画しました」と話している。六月三日まで。（小森美香）



さまざまなミスバショウが並ぶ「呼人の水芭蕉写真展」